

9/21 今年も盛り上がりました！
ロアッソ熊本町民招待DAY

えがお健康スタジアムで行われた、ブラウブリッツ秋田戦に、多くの町民が来場しました。これは、ロアッソ熊本と結んでいる連携協定の取り組みの1つとして、町民500人の無料招待を行ったものです。

また、約100人が試合前とハーフタイムで、選手と同じ目線でピッチ内を1周するスタジアム周遊ツアーに参加しました。選手とのハイタッチやウォーミングアップ見学の時間もあり、参加者は、貴重な体験に目を輝かせていました。

試合前の部では、参加者が観客席へボールを投げ込み、ボールを獲得した人は、町特産品と引き換え、うれしそうに持ち帰っていました。

その他、町PRブースの出展、町PR動画の放映、町消防団による放水パフォーマンスなどを行い、会場を盛り上げました。



1. 周遊ツアーの参加者
2. 種類豊富な町PRブースも人気
3. 「ボール、観客席に届け！」

8/23 ご支援に感謝します
寄付をいただきました

(株)アスク工業、(株)ジョイント(共に菊陽町)から寄付の申し出があり、寄付金贈呈式を行いました。

上村信敏代表取締役(株)アスク工業、(株)ジョイント)は「町の発展のために、広く町政に役立ててほしい」と話しました。吉本町長は「これからも発展を続けていくために、さまざまな事業に活用させていただきたい」と応えました。



目録を手渡す上村代表取締役と吉本町長

9/11~20 菊陽町へようこそ
バックスマーシュ・グラマー校来町

9月11日~20日の10日間、バックスマーシュ・グラマー校(以下、「BMG校」)の生徒11人が、町にホームステイに訪れました。これは、オーストラリアの人との交流を通して、町の子どもたちが外国語によるコミュニケーション能力と国際社会に対応する能力を身に付けることを目的として、5年ぶりに行われたものです。平成10年度から行われ、今回で14回目の受け入れとなります。

訪れた11人の生徒は、毎朝ホストファミリーと登校し、町の小・中学校を訪問しました。菊陽北小学校では児童とフルーツバスケットを行い、武蔵ヶ丘中学校では生徒と箸作りなどをして、積極的に交流。18日には人吉へ視察研修に出かけ、伝統工芸品である花手箱作りを通して熊本の文化も学ぶことができました。最終日には、ホームステイを受け入れた家族と「帰ってしまうのが寂しい。また会いたい」と、抱きしめ合い別れを惜しむ姿がありました。



「秘伝！ラーメン体操」を菊陽西小学校の児童と踊るBMG校の生徒



ホストファミリーとウェルカムパーティーに出席



町を去るBMG校の生徒を見送るホストファミリー

9/22 台湾文化で大勢を魅了
台湾文化団体合同公演

昨年に引き続き、台湾文化団体合同公演を図書館ホールで開催しました。今回は、台湾・新竹市を拠点に活動する新竹交響管樂團や竹塹築夢歌劇團、雲火Inferno火舞團、新竹北埔八音團に加え、清華大學A1樂團、嵐韻箏樂團の計6団体を招待。約70人の団員が出演し、色鮮やかな民族衣装で演舞や歌を披露したり、カラフルなLEDライトで彩られた衣装をまとい踊ったりと、観客を魅了しました。

公演の最後には、吉本町長から各団体に感謝状を贈呈しました。

公演の最後には、吉本町長から各団体に感謝状を贈呈しました。



台湾の伝統衣装を着て踊る竹塹築夢歌劇團



扇子に付いた香りを楽しむ観客



記念写真を撮る吉本町長と台湾の団員

9/23 プロからの指導に感無量
ジュニアバドミントン教室

国際バドミントン大会熊本マスタースジャパン2024の50日前イベントとして、総合体育館でジュニアバドミントン教室が行われました。町民20人を含む計60人が参加。同大会のアンバサダーを務める桃田賢斗選手がゲストとして登場し、実際に子どもたちのプレーを見て指導しました。

トークショーやサイン入りグッズをかけたじゃんけん大会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。



子どもたちのプレーを見てアドバイスをする桃田選手

Happy Birthday

ぼくのわたしの誕生日

元気の森ラビット保育園

もりやま あいび
森山 歩音魅さん
平成30年11月10日生まれ(花立)
元気いっぱい明るい笑顔がすてきな歩音魅さん。踊ったり、走ったりすることを頑張っています。

よしだ ひかり
吉田 光里さん
平成30年11月2日生まれ(南花立)
友達にとっても優しい光里さん。音楽がとても好きで、鍵盤ハーモニカを特に頑張っています。